

教職員の方々にこの危機を訴えます 学友会 役員

教職員の方々に！

去る15日、村田理事長とその追従者は「査問委員会」なるものをでっち上げ、真下学長・山脇教授・西氏の解任解職を一方向的に通告しました。

この査問委員会なるものは、なんら正当な手続きを経て作り出されたものでなく、通告には解任理由は一言も明らかにされません。私達は、入試の最中の合格発表作業を控えての理事長による教授会他の理事、学生監視の暴挙に強く抗議し、通告の不当性と無効を主張するものです。また、16日には入試本部長である山脇教授の試験場入場が実力阻止されました。事態は教授会の教学権侵害にとどまらず、多摩美の存立と発展にかかわるものです。

私達学生は、このような不当な解任解職通告とそれを既成事実化しようとする動き、さらに理事長らによる学長、教務部長代行擁立の策動を、けつして許さず、学生と共に抗議の意を表明されること及び、暴挙糾弾の行動と共に立ち上げられることを、教職員の方々に強く訴えます。

昭和50年12月20日

多摩美大学友会